

# 生産管理システムの刷新で、 さらなる効率化をはかる



## POINT

原価の算出方法や  
目標利益率の設定などが  
明確化されました



## 株式会社 共進

代表取締役  
齋藤 利浩 Saito Toshihiro

〒018-0400  
にかほ市象潟町字中谷地34-12  
TEL.0184-43-5044  
FAX.0184-43-2754  
<http://www.kyoshinss.co.jp/>

## 日本の産業を支える小さな部品

にかほ市にある「株式会社 共進」は、金属部品の精密加工メーカー。5/1000ミリ、1/100ミリなどの、「超」が付くほどの小さな部品を手掛け、毎月、じつに3000種もの部品が製造されている。

「どんな企業の部品でも図面さえあれば作ることができる」というのが同社の強み。薄物切削加工を得意とし、多品種・少量加工、納期短縮などにも対応が可能のため、試作や開発段階から各企業のニーズに寄り添ってきた。

主な取引先は、同市に工場を持つTDKや、電子部品の包装機械メーカー東京ウェルズなど。日本を代表する産業は、共進の高品質な部品によって支えられていると言っても過言ではない。

## 原価、時間、利益を把握できる現場へ

昭和51年の創業から実績を重ね、47期を迎えた同社だが、昨年より、生産管理の見直しを図っている。

その一つとして行ったのが、原価計算の適正化だ。セン

ターの専門家派遣事業を活用し、指導を受けることで、これまでは担当者によってばらつきのあった原価の算出方法や目標利益率の設定などが明確化された。

また、センターの生産性向上支援事業を活用し、アドバイザーの指導のもと現場の動線の見直しを図った。これにより、これまでは機械の使用後は入力のために離れた場所にある端末までそれぞれが移動していたが、見直し後は各セクションごとに最小限の移動での入力が可能となった。

「加工業では、それぞれの作業時間がそのまま製品の単価に影響します。一つの部品にかけられる時間を一人ひとりが把握したうえで製造に向かい、スムーズにできる方法を考えることがさらなる利益につながっていくと考えています」と、代表の齋藤利浩氏。

現在、以前のシステムから新規のものへ移行中で、ここから一年かけて基盤づくりをしていくという。信頼の製造実績に効率化も加わることで、さらなる業務の充実が期待される。



### ▶活用事例 専門家の派遣

企業が抱える経営課題に対し、センターに登録されている各種分野の専門家を派遣し、診断・助言を行います。  
[お問い合わせ] 総合相談課 TEL.018-860-5610

### ▶活用事例 生産性向上への助言

製造現場の生産性向上を目的に、生産改善アドバイザーによる現場カイゼンの助言等で支援します。  
[お問い合わせ] 取引振興課 TEL.018-860-5623